

**平成30年度  
主要事業に係る成果説明書**



©霞ヶ浦帆引き船・帆引き網漁法保存会

**令和元年8月  
かすみがうら市**

# 目次

<b>I 自然の恵みを享受できるまちづくり</b> .....	<b>1</b>
1 世界湖沼会議サテライト事業（政策） <生活環境課> .....	1
2 資本的施設整備事業（政策） <水道課> .....	2
3 一般廃棄物処理事業（政策） <生活環境課> .....	3
4 環境保全推進事業（政策） <生活環境課> .....	4
<b>II 産業の振興で活力あふれるまちづくり</b> .....	<b>5</b>
5 農地中間管理事業（政策） <農林水産課> .....	5
6 米政策推進事業（政策） <農林水産課> .....	6
7 農業振興事業（政策） <農林水産課> .....	7
8 地域ポイント推進事業（政策） <観光商工課> .....	8
9 観光サイクリング事業（政策） <観光商工課> .....	9
10 歩崎公園管理運営事業（政策） <観光商工課> .....	10
11 地域活性化DMO推進事業（政策） <観光商工課> .....	11
<b>III 安全で快適に暮らせるまちづくり</b> .....	<b>12</b>
12 神立駅周辺整備事業（政策） <生活環境課> .....	12
13 神立駅周辺整備事業（政策） <都市整備課> .....	13
14 都市計画調整事業（政策） <都市整備課> .....	14
15 市道整備事業（政策） <道路課> .....	15
16 街路整備事業（政策） <道路課> .....	16
17 公共交通対策事業（政策） <政策経営課> .....	17
18 公有財産調整事業（政策） <行財政改革・公共施設等マネジメント推進室> .....	18
19 旧宍倉小学校施設転用整備事業（政策） <行財政改革・公共施設等マネジメント推進室> .....	19
20 企画調整事業（政策） <政策経営課> .....	20
21 地域安全対策事業（政策） <生活環境課> .....	21
22 防災訓練事業（政策） <総務課> .....	22
23 災害対策事業（政策） <総務課> .....	23
24 防災無線整備事業（政策） <総務課> .....	24
<b>IV 健康で思いやりをもって暮らせるまちづくり</b> .....	<b>25</b>
25 健康づくり推進事業（政策） <健康づくり増進課> .....	25
26 不妊治療費助成事業（政策） <健康づくり増進課> .....	26
27 保健関係団体等活動促進事業（政策） <健康づくり増進課> .....	27
<b>V 未来を担う若者を育むまちづくり</b> .....	<b>28</b>
28 私立保育所事業（政策） <子ども家庭課> .....	28
29 放課後児童健全育成事業（政策） <大塚児童館・ふれあいセンター> .....	29
30 子育て支援事業（政策） <子ども家庭課> .....	30

31	子どもミライ学習事業（政策）	＜学校教育課＞	31
32	企業立地促進事業（政策）	＜地域未来投資推進課＞	32
VI	豊かな学びと創造のまちづくり		33
33	千代田中学校区統合小学校環境整備事業（政策）	＜学校教育課＞	33
34	中学校施設耐震推進事業（政策）	＜学校教育課＞	34
35	市民ふれあいスポーツ推進事業（政策）	＜スポーツ振興課＞	35
VII	みんなでつくる連携と協働のまちづくり		36
36	市民参画事業（政策）	＜市民協働課＞	36
37	企画調整事業（政策）	＜政策経営課＞	37

担当	生活環境課 環境対策担当
----	-----------------

款 04 衛生費	項 01 保健衛生費
----------	------------

事業名	世界湖沼会議サテライト事業（政策）
-----	-------------------

（単位：千円）

平成30年度 決算額	5,185	財源内訳	国庫支出金	県支出金	自主財源
					5,185
総合計画体系	1. 自然の恵みを享受できるまちづくり				
	(1) 自然環境の保全と活用				
	1 環境保全・公害				
	③霞ヶ浦の水質浄化・環境整備促進				
事業期間	単年度のみ		全体事業費	—	

### 【事業の概要】

以下の事業を行う実行委員会への事業費を助成しました。

■帆引き船フェスタ with 世界湖沼会議 等（事業費1,603千円の一部を助成）

○帆引き船フェスタ with 世界湖沼会議

日時：5月4日 会場：歩崎公園

・帆引き船の操業及び随伴船での観覧等

○市子ども会育成連合会 リーダー研修会

日時：7月29日 会場：歴史博物館

・帆引き船の模型づくり教室

○ウィークエンド・コミュニティー・スクール事業  
リーダー研修会

日時：8月19日 会場：農村環境改善センター

・帆引き船の模型づくり教室

■世界湖沼会議開催記念事業（事業費4,345千円の一部を助成）

○帆引き船講演会&帆引き船シンポジウム

「帆引き船と霞ヶ浦の魚食文化」

日時：9月16日 会場：農村環境改善センター

○世界湖沼会議記念特別展

「日本漁業史の中の帆引き船—霞ヶ浦漁業からの殖産興業—」

日時：9月15日～10月21日 会場：市歴史博物館



### 【事業の成果】

郷土の文化や歴史への理解を深めるとともに、生態系を将来にわたって持続的に維持するためにはどのようなことに取り組むべきか、住民・農林漁業者・事業者・研究者・行政等湖沼に関わる全ての人々が、情報の共有・意見交換を行うことで、本事業を契機に、様々な立場におけるそれぞれの役割分担や連携の意識がより一層醸成され、また、湖沼問題解決の新たな進展につながりました。

担当	水道課 工務担当
----	-------------

款	資本的支出	項	建設改良費
---	-------	---	-------

事業名	資本的施設整備事業（政策）
-----	---------------

（単位：千円）

平成30年度 決算額	305,135	財源 内訳	国庫支出金 0	工事負担金 12,735	企業債 292,400	出資金 0	自主財源 0
総合計画体系	4. 自然の恵みを楽しむまちづくり						
	(2) 快適な住環境の整備						
	1. 上水道						
	① 安定した水の供給						
事業期間	期間限定複数年度（平成29年度～令和8年度）		全体事業費		1,981,422		

### 【事業の概要】

#### (1) 目的

送水・配水施設を水需要に合わせて整備するとともに、既存施設を水道施設更新計画に基づき修繕・更新工事を行うものです。

#### (2) 施設更新内容

##### 1) 下稲吉第2浄水場

- ・自家発電機室築造 ・自家発電機更新
- ・電気室棟築造 ・高圧受配電並びに動力計装盤等の電気設備更新

##### 2) 霞ヶ浦浄水場

- ・自家発電機更新 ・高圧受配電並びに動力計装盤等の電気設備更新

##### 3) 管路施設

- ・地震に強い耐震管を採用した老朽管布設替え

#### (3) 更新実績抜粋

##### 1) 下稲吉第2浄水場

- ・自家発電機室築造 ・自家発電機更新

##### 2) 管路施設

- ・導水管布設



下稲吉第2浄水場  
自家発電機室及び自家発電機

### 【事業の成果】

安全（安心して飲める）かつ強靱（災害に強い）で継続的な水道水の安定供給ができます。

指標内容	単位		H29年度	H30年度	R1年度
下稲吉第2浄水場更新工事進捗率 ※H29-R3までの5年間の事業であり完了年度をR3と設定	%	目標	20	40	60
		実績	20	40	—

担当	生活環境課 衛生担当
----	---------------

款 04 衛生費	項 01 保健衛生費
----------	------------

事業名	一般廃棄物処理事業（政策）
-----	---------------

（単位：千円）

平成30年度 決算額	499,606	財源内訳	国庫支出金	県支出金	自主財源
					499,606
総合計画体系	1. 自然の恵みを享受できるまちづくり				
	(3) 資源循環型社会の形成				
	1 廃棄物処理				
	①広域ごみ処理施設建設の推進				
事業期間	継続		全体事業費	—	

### 【事業の概要】

#### 主な事業内容

##### ■家庭系一般廃棄物収集業務委託（110,309千円）

一般家庭からごみ集積所に排出された一般廃棄物（ごみ）の収集を業者に委託し、市のごみ収集カレンダーの日程に従って収集しました。委託により可燃ごみ、不燃ごみ、カン、ビン、ペットボトル、資源ごみ、粗大ごみのステーション方式による収集を行いました。処分場への搬入、資源ごみはリサイクルにより売却収入に結びました。

##### ■新治地方広域事務組合への負担金支出（242,226千円）

新治地方広域事務組合へごみを搬入し、その後の処分（焼却やリサイクル）が進められていることから、負担金を支出しました。

##### ■霞台厚生施設組合への負担金支出（146,721千円）

令和3年度からは、霞台厚生施設組合において新たなごみの処分が進められる予定となっており、その施設建設等が進められていることから、負担金を支出しました。



霞台厚生施設組合の新ごみ処理施設外観イメージ

### 【事業の成果】

家庭系一般廃棄物収集に関する事業は、公共性が高く行政に義務付けられているものであり、集積所からステーション方式で収集運搬を行うことで、市民の清潔で快適な生活環境の実現に寄与しています。

担当	生活環境課 環境対策担当
----	-----------------

款 04 衛生費	項 01 保健衛生費
----------	------------

事業名	環境保全推進事業（政策）
-----	--------------

（単位：千円）

平成30年度 決算額	800	財源内訳	国庫支出金	県支出金	自主財源
				400	400
総合計画体系	1. 自然の恵みを享受できるまちづくり				
	(3) 資源循環型社会の形成				
	2 再生可能エネルギー				
	①分散型エネルギーの活用				
事業期間	継続		全体事業費	—	

### 【事業の概要】

#### ■自立・分散型エネルギー設備導入促進補助支出（800千円）

県で推進する事業を活用し、水素の利活用の促進とエネルギー利用の効率化を図るため、機器導入した住民に対し補助金を交付するものです。1基あたり10万円（内訳：県1/2・市1/2）を助成しました。

#### ○家庭用燃料電池システム（エネファーム）

対象経費…設備本体（燃料電池ユニット、貯湯ユニット等）及び付属品（リモコン等）の購入費、工事費（据付・配線・配管工事等）

#### ○定置用リチウムイオン蓄電システム

対象経費…設備本体（蓄電池部、電力変換装置、蓄電システム制御装置等）及び付属品（計測・表示装置、キュービクル等）の購入費、工事費（据付・配管工事等）

※家庭用燃料電池システム（エネファーム）とは、都市ガスやLPガスなどから水素を取り出し、空気中の酸素を化学反応させて発電するもの。

※定置用リチウムイオン蓄電システムとは、ふだん電池を蓄えておき、停電時や電力需要ピーク時などにその電力を使えるもの。



定置用リチウムイオン蓄電システム

### 【事業の成果】

資源循環型社会の形成に向けた再生可能エネルギーの活用、限られた資源の有効活用や災害時の電力を補うことに対して助成を行うことで、自然環境の保全と産業イノベーションの促進を図ることに寄与しています。

担当	農林水産課 農政担当
----	---------------

款 06 農林水産業費	項 01 農業費
-------------	----------

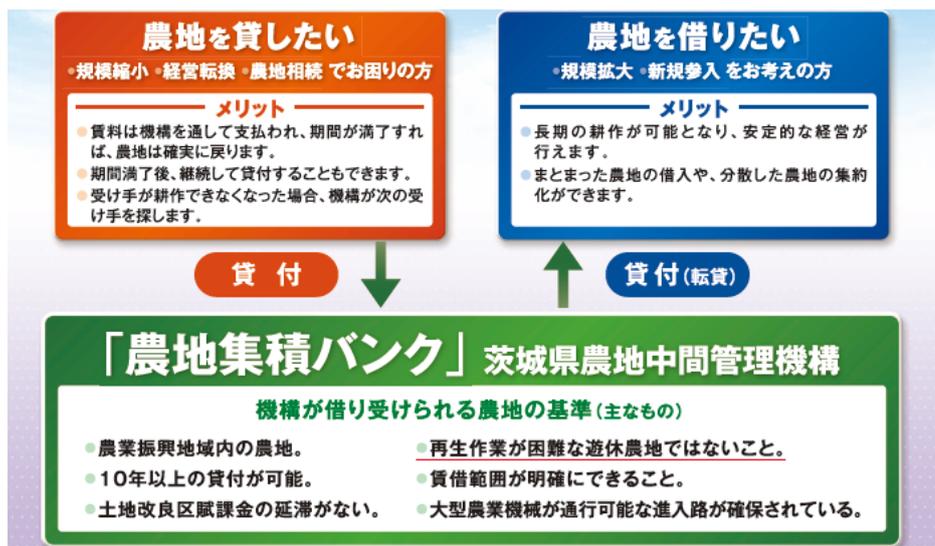
事業名	農地中間管理事業（政策）
-----	--------------

（単位：千円）

平成30年度 決算額	1,848	財源内訳	国庫支出金	県支出金	自主財源
				316	1,532
総合計画体系	2. 産業の振興で活力あふれるまちづくり				
	(1) 農林水産業の振興				
	1 農林水産業				
	① 農業経営基盤の強化				
事業期間	継続		全体事業費	—	

### 【事業の概要】

農地中間管理事業の推進に関する法律に基づき、茨城県農地中間管理機構（茨城県農林振興公社）からの委託を受け、農地の貸し手と借り手からの受付やマッチングを行い、担い手への農地の集積を図り、農業の生産営農向上に資します。



### 【事業の成果】

経営規模の縮小や離農した農家等の土地を農地中間管理事業により新たな担い手に貸し出すことで、遊休農地の増加を防ぎ、担い手の農業生産向上が図られました。

指標名	H28	H29	H30
同事業により新たに集積された農地面積	47.90ha	18.14ha	19.22ha

担当	農林水産課 農政担当
----	---------------

款	06 農林水産業費	項	01 農業費
---	-----------	---	--------

事業名	米政策推進事業（政策）
-----	-------------

（単位：千円）

平成30年度 決算額	21,107	財源内訳	国庫支出金	県支出金	自主財源
					21,107
総合計画体系	2. 産業の振興で活力あふれるまちづくり				
	(1) 農林水産業の振興				
	1 農林水産業				
	①農業経営基盤の強化				
事業期間	継続		全体事業費	—	

### 【事業の概要】

コシヒカリ等主食用米の飼料用出荷に対する助成をH28・H29年度で段階的に削減し、H30年度以降は専用品種に一本化しています。また、H29年度から「ふくまる」の作付けに対して助成を行い、産地化を促進するとともに、特別栽培により育てられた【ふくまる厳選米】を市のブランド米と位置付け高付加価値化を図るための支援をします。その他、飼料用米、麦、大豆などの戦略作物の本作化を進め、水田をフル活用するための支援や輸出用米等の新市場開拓用米への支援を行い経営所得の安定を図ります。

水田利活用助成内容	H28	H29	H30
飼料用米	86.28ha	68.47ha	—
飼料用米(多収性品種)	89.75ha	96.04ha	96.03ha
担い手(多収性品種)	76.91ha	83.64ha	93.41ha
担い手(飼料作物)	18.21ha	17.79ha	16.56ha
担い手(上記以外)	126.20ha	135.02ha	—
担い手(麦・大豆)	—	—	0.06ha
推奨米(ふくまる)	—	16.32ha	19.78ha
特別栽培(ふくまる)	—	—	1.78ha



(ブランド米のロゴ)

### 【事業の成果】

飼料用米等の新規需要米や市が推奨する作物を生産する農業者に対し交付金を支払い、需要に合った米生産へ方向転換を促した結果、米価の安定につながりました。

指標名	H28	H29	H30
新規需要米(飼料用米等)の生産面積	176.00ha	164.51ha	116.08ha

担当	農林水産課 農政担当・産業振興担当
----	----------------------

款	06 農林水産業費	項	01 農業費
---	-----------	---	--------

事業名	農業振興事業（政策）
-----	------------

（単位：千円）

平成30年度 決算額	2,462	財源内訳	国庫支出金	県支出金	自主財源
				130	2,332
総合計画体系	2. 産業の振興で活力あふれるまちづくり				
	(1) 農林水産業の振興				
	1 農林水産業				
	③担い手の育成と後継者の確保				
事業期間	継続		全体事業費	—	

### 【事業の概要】

潜在する担い手に対して農業経営改善計画の認定を促し、担い手支援関係施策につなげます。農水産物や加工品のブランド化を図り、地域農業の振興を図ります。

【米消費拡大推進事業】事業主体：かすみがうら市農業再生協議会  
「ふくまる厳選米」や「ふくまる厳選米のお酒」をPRする等、米の消費拡大を図りました。

【遊休農地対策事業】事業主体：かすみがうら市農業再生協議会  
3名の農家に対し、4か所で167aの遊休農地が解消されました。



第三者継承促進事業研修風景

【第三者継承促進事業】事業主体：かすみがうら市農業再生協議会  
市内で近い将来果樹の経営を目指す研修生及びその研修生を受け入れてくれる農家を募集し、1件マッチングに成功しました。  
研修生を受け入れてくれる農家の登録件数は現在3件です。

### 【その他】

- ・認定農業者数 H28：180人(172件) H29：188件(178件) H30：199人(184件)
- ・湖山の宝推奨品の新規認定数 H28：6件 H29：10件 H30：10件

### 【事業の成果】

各団体に運営費や事業費を補助し、担い手の農業経営発展を図りました。それらにより、農業経営改善計画の認定数（認定農業者数）は増加しています。

指標名	H28	H29	H30
農業経営改善計画の新規認定件数	13件	10件	10件

担当	観光商工課 観光商工担当
----	-----------------

款 07 商工費	項 01 商工費
----------	----------

事業名	地域ポイント推進事業（政策）
-----	----------------

（単位：千円）

平成30年度 決算額	7,173	財源内訳	国庫支出金 3,497	県支出金	自主財源 3,676
総合計画体系	2. 産業の振興で活力あふれるまちづくり				
	(2) 商工業の振興				
	1 商工業				
	①商業環境の活性化				
事業期間	継続		全体事業費	—	

### 【事業の成果】

<p>○地域ポイント制度の運用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 対象事業事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>①出産祝品贈呈事業②乳幼児健康診査事業③観光商工事業（第2回Eボートレース大会参加者/ライトハタース inかすみがうら参加者/ライターマンキッズ参加者/かすみがうらエンデューロ参加者/かすみがうらライトゲスト特別版参加者/イベント会場でのアンケート調査/レンタル利用者/市公式キャラクター公募など）④職員互助会福利厚生事業</li> </ul> </li> <li>◆ 配布ポイント：2,168,000p（予定2,870,500p）、3,435件</li> <li>◆ 取得ポイント：902,000p、1,301件</li> <li>◆ 利用ポイント：464,190p（464,190円精算）</li> <li>◆ 登録者：778人</li> <li>※H31.3.31現在</li> </ul> <p>○地域ポイントシステムの維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ システムの安全運営・管理（株式会社Sound-FinTech）</li> <li>◆ 事務効率化のシステム改修（QRコード作成、お知らせ機能追加）</li> </ul> <p>○地域ポイントの普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 日立建機フェスティバル 開催日…11/18（日）</li> <li>◆ ホームページ、広報誌、各種イベント等</li> <li>◆ マニュアル等作成（チラシ4,000部、マニュアル3,000部、店舗用マニュアル300部）</li> </ul>	
--	---

### 【事業の評価】

地域ポイント制度の安定運用と普及啓発に努め、アプリ利用者数と利用店舗の拡大が図れましたが、継続して普及啓発に注力していきます。新規で様々な分野の事業と連携したポイント付与が可能となるよう継続して事業拡充を図ります。

### 【成果指標】

	H29	H30	R1
地域ポイント利用可能店舗数	目標 5店舗	10店舗	15店舗
	実績 5店舗	10店舗	—

担当	観光商工課 自転車・企画推進担当
----	---------------------

款	07 商工費	項	01 商工費
---	--------	---	--------

事業名	観光サイクリング事業（政策）
-----	----------------

（単位：千円）

平成30年度 決算額	15,806	財源内訳	国庫支出金 5,542	県支出金	自主財源 10,264
総合計画体系	2. 産業の振興で活力あふれるまちづくり				
	(3) 観光の振興				
	1 観光				
	②観光資源の活用				
事業期間	継続		全体事業費	—	

### 【事業の成果】

- ライドハンターズINかすみがうら

- ◆開催日…10/13（土）
- ◆参加者…50組（139人）



- ライダーマンキッズ

- ◆開催日…10/13（土）
- ◆参加者…84人

- かすみがうらエンデューロ

- ◆開催日…10/14（日）
- ◆エントリー…1151人
- ◆来場者…7,000人（両日）



- 霞ヶ浦まるごとグルメフェス2018

- ◆開催日…10/13～10/14
- ◆出展団体…18団体

- サイクリングコースの作成（新規5コース）

- ツールドニッポン参加者向けアプリ・HP・サイクリングガイドの作成（1,000部）

### 【事業の評価】

一定期間が経過した事業であることから、全体的な見直しや新規事業展開などの検討を実施しなければなりません。また、新たに設定したサイクリングコースの利活用を推進し、サイクリストの誘客を図ります。さらに、新たな事業展開を検討するとともに試験的に一部実施するなどして、積極的に新規ターゲットの獲得を目指していきます。

### 【成果指標】

	H29	H30	R1
来場者数	目標 6,000人	8,000人	8,000人
	実績 6,000人	7,000人	—

担当	観光商工課 観光商工担当
----	-----------------

款	07 商工費	項	01 商工費
---	--------	---	--------

事業名	歩崎公園管理運営事業（政策）
-----	----------------

（単位：千円）

平成30年度 決算額	62,346	財源内訳	国庫支出金 20,422	県支出金	自主財源 41,924
総合計画体系	2. 産業の振興で活力あふれるまちづくり				
	(3) 観光の振興				
	1 観光				
	③観光拠点の整備				
事業期間	継続		全体事業費	—	

### 【事業の成果】

#### ○歩崎公園トイレ棟改築工事

- ①歩崎公園トイレ棟改築工事監理業務委託  
契約：H30. 8. 8 完了：H31. 3. 29 委託金額：1,469,000円
- ②歩崎公園トイレ棟改築工事設計単価入替業務  
契約：H30. 5. 7 完了：H30. 5. 31 委託金額：648,000円
- ③歩崎公園トイレ棟改修工事  
契約：H30. 8. 2 完了：H31. 2. 28 請負金額：37,136,880円  
（防衛補助：13,402,000円）
- ④歩崎公園雨水排水整備工事  
契約：H30. 12. 3 完了：H31. 2. 28 委託金額：1,026,000円
- ⑤建物概要  
構造：木造/階数：1F/建築面積：76.87㎡/延床面積：60.67㎡  
設備詳細 男子：大便器2、小便器3、ベビーチェア-1 女子：大便器4、ベビーチェア-1  
多目的：車いす対応便器1、おむつ交換台1、ベビーチェア-1



#### ○歩崎公園棧橋設置工事

- ①歩崎公園棧橋設置調査等業務委託  
契約：H30. 1. 24 完了：H30. 5. 31 委託金額：6,253,200円
- ②歩崎公園沖網いけす撤去業務委託  
契約：H30. 4. 16 完了：H30. 5. 31 委託金額：1,773,109円
- ③歩崎公園湖岸棧橋設置設計業務委託  
契約：H30. 7. 6 完了：H31. 3. 20 委託金額：14,040,000円（推進交付金：7,020,000円）



### 【事業の評価】

歩崎公園周辺の施設については、アクションプランに基づき年次的に機能性の充実を図ります。

【成果指標】		H29	H30	R1
歩崎公園トイレ解体・新築工事進捗率	目標	25%	100%	—
	実績	25%	100%	—
【成果指標】		H29	H30	R1
歩崎公園棧橋設置進捗率進捗率	目標	—	25%	100%
	実績	—	25%	—

担当	観光商工課 観光商工担当
----	-----------------

款	07 商工費	項	01 商工費
---	--------	---	--------

事業名	地域活性化DMO推進事業（政策）
-----	------------------

（単位：千円）

平成30年度 決算額	19,729	財源内訳	国庫支出金 8,008	県支出金	自主財源 11,721
総合計画体系	7. みんなでつくる連携と協働のまちづくり				
	(3) 産学官連携の推進				
	1 産学官連携				
②サイクリングプログラムを核とした地域活性化DMO推進事業					
事業期間	継続		全体事業費	—	

### 【事業の概要】

交流センターを拠点に事業を展開する「株式会社かすみがうら未来づくりカンパニー」を中心に、歩崎地域や近隣の観光資源を効果的に組合せ、磨き上げ、魅力をアピールし、来訪客が年間を通じて域内に訪れ、賑わいと経済活性化がもたらされる地域づくりを行うものです。

#### ○地産外商推進事業

本市がより外貨を稼ぐ地域づくりを目指すために、地域商社機能を担う存在が、地産品の新商品開発や市で認定した「湖山の宝」推奨品を域外へ外商する仕組みづくりを行い、本市経済の更なる発展につなげていく取組み。下記の取組みのほか、WEBサイト広告によるPRやECサイト構築を実施。



新商品開発の一例（フルーツピネガー）



販売促進ツール制作の一例

#### その他

##### ○歩崎地域観光振興アクションプラン策定

（6つの方向性を基に今後取り組むべきプランを整理）

##### ○地域資源を活用した体験型プログラムイベントの構築

（現代人が求める「健康」「癒し」等をコンセプトに、サイクリングと組み合わせた地域資源活用体験型プログラムを構築）

### 【事業の成果】

平成30年度については、域外へ販路を拡大するためのECサイトの構築、新商品の開発やPR、販促ツールの作成など、仕組みづくりの構築等に時間を要したため、目標値には至らない結果となりましたが、次年度以降、この取り組みの効果が地域事業者への経済波及効果に資するよう、引き続き連携を強化し支援を行っていきます。

#### 【成果指標】

	H29	H30	R1	
株式会社かすみがうら未来づくり	目標	4,000	4,000	【千円】
カンパニーECサイト売上額の増加分	実績	313	—	

担当	生活環境課 交通安全・防犯担当
----	--------------------

款 08 土木費	項 04 都市計画費
----------	------------

事業名	神立駅周辺整備事業（政策）
-----	---------------

（単位：千円）

平成30年度 決算額	3,009	財源内訳	国庫支出金	県支出金	自主財源
					3,009
総合計画体系	3. 安全で快適に暮らせるまちづくり				
	(1) 適正な土地利用の推進				
	1 土地利用				
	①中心市街地の整備				
事業期間	継続		全体事業費	—	

### 【事業の概要】

#### ■神立駅西口自転車駐車場整備事業への負担金支出（3,009千円）

神立駅西口地区土地区画整理事業に伴い、西口自転車駐車場の既存施設の解体及び新築工事。平成30年度については、仮設自転車駐車場設置工事、立哨指導員委託を実施することに対して負担金を支出。令和元年度には立哨指導員委託のほか、新築工事、仮設自転車駐車場撤去工事の実施に対する負担金を支出する予定。



解体前の旧神立駅西口自転車駐車場

### 【事業の成果】

自転車駐車場の建て替えにより、自転車等の放置防止を図り、良好な交通環境を確保することで市民の安全な生活環境を保持することに寄与します。

担当	都市整備課 公園街路担当
----	-----------------

款	08 土木費	項	04 都市計画費
---	--------	---	----------

事業名	神立駅周辺整備事業（政策）
-----	---------------

（単位：千円）

平成30年度 決算額	423,752	財源内訳	国庫支出金	県支出金	自主財源
					423,752
総合計画体系	3. 安全で快適に暮らせるまちづくり				
	(1) 適正な土地利用の推進				
	1 土地利用				
	①中心市街地の整備				
事業期間	期間限定複数年度（平成24年度～令和3年度）	全体事業費	1,162,800		

### 【事業の概要】

本事業は、駅前広場整備と県道の拡幅等による歩行者の安全確保や商業環境の向上とともに、駅舎の橋上化など都市機能の充実を図るものです。

- ・全体面積 2.2ha（当市 0.9ha、土浦市 1.3ha）
- ・事業認可期間 平成24年度～令和3年度（平成29年2月 認可期間変更）

[負担金内訳]

（単位：千円）

区分	負担金	概要
土浦・かすみがうら土地区画整理一部 事務組合負担金	171,958	建物補償費、公共施設整備工事等 152,800
		派遣職員人件費 15,200
		事務費 3,958
駅舎橋上化及び自由通路整備負担金	251,794	駅舎・自由通路整備工事

▶  
橋上  
駅舎



▶  
自由  
通路



### 【事業の成果】

平成31年3月にJR神立駅橋上駅舎、東西自由通路が全面供用開始され、移動の円滑化が図られました。

#### [事業進捗]

事業名	0%	69.05%	100%
神立駅周辺整備事業			

担当	都市整備課 都市計画担当・開発担当
----	----------------------

款 08 土木費	項 04 都市計画費
----------	------------

事業名	都市計画調整事業（政策）
-----	--------------

（単位：千円）

平成30年度 決算額	10,608	財源内訳	国庫支出金 1,647	県支出金	自主財源 8,961
総合計画体系	3. 安全で快適に暮らせるまちづくり				
	(1) 適正な土地利用の推進				
	1 土地利用				
⑦都市計画の推進					
事業期間	継続		全体事業費	—	

### 【事業の概要】

本事業は、特色あるまちづくりを推進するため、都市計画の審議・調査、必要に応じて見直しを実施するものです。また、開発行為事務に係る各種研修会等に参加し、職員のスキルアップ及び近隣の事務処理市との意見交換を実施しています。

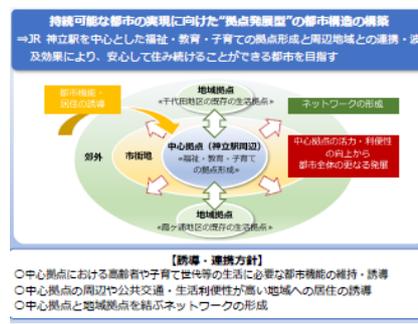
[事業費内訳]

（単位：千円）

区分	事業費	概要
都市計画図修正業務委託	5,378	平成29年度の都市計画道路神立停車場線沿道地区の用途変更に伴い、都市計画図を一部修正
準防火地域指定業務委託	551	土浦・阿見都市計画防火地域及び準防火地域の変更
立地適正化計画策定及び都市計画マスタープラン改定業務委託	4,601	都市計画マスタープランの改定と立地適正化計画の策定を平成30年度より3カ年で実施
研修負担金	78	「開発許可Ⅰ・Ⅱ」



都市づくりの理念と目標(都市マス)



まちづくりの方針(立地適正化)

### 【事業の成果】

本市においては、平成30年度～令和2年度の3年間で都市計画マスタープランの改定と立地適正化計画の策定を予定しており、平成30年度は、現況調査として前提条件の整理・分析、都市計画マスタープランの中間評価、課題の整理等を行い、今後の都市づくりの理念や人口推計等の検討を進めました。

#### 【事業進捗】

事業名	0%	33.3%	100%
都市マス改定及び立適策定業務	<div style="width: 33.3%; background-color: #cccccc;"></div>		

担当	道路課 工務担当・用地担当
----	------------------

款 08 土木費	項 02 道路橋梁費
----------	------------

事業名	市道整備事業（政策）
-----	------------

（単位：千円）

平成30年度 決算額	172,454	財源内訳	国庫支出金 27,767	県支出金	自主財源 144,687
総合計画体系	3. 安全で快適に暮らせるまちづくり				
	(2) 都市基盤の整備				
	1 道路・交通				
	④幹線道路の整備				
事業期間	単年度のみ		全体事業費	—	

### 【事業の概要】

#### （1）目的

市道利用者の安心・安全な通行を確保するため、行政区要望及び計画路線を基に道路改良工事、舗装補修工事、排水整備工事を実施しています。平成30年度は主に、通学路交通安全対策としての歩道整備工事及び幹線道路の舗装補修工事、また冠水軽減対策として排水整備工事を実施しました。

#### （2）工事件数

- ・道路改良工事 7箇所
- ・舗装補修工事 4箇所
- ・排水整備工事 5箇所

#### （3）工事費

- ・道路改良工事 79,444千円
- ・舗装補修工事 44,217千円
- ・排水整備工事 27,716千円

#### （4）整備延長

- ・道路改良工事 1,213m
- ・舗装補修工事 1,015m
- ・排水整備工事 504m



市道7034号線 歩道整備工事

### 【事業の成果】

- ・生活道路の改修による利便性の向上。また、舗装補修による、通行性の向上及び周辺住宅への騒音・振動軽減が図られます。
- ・近年のゲリラ豪雨等による冠水軽減対策として、排水整備を実施し、安心・安全な生活が確保されます。

担当	道路課 工務担当
----	-------------

款 08 土木費	項 04 都市計画費
----------	------------

事業名	街路整備事業（政策）
-----	------------

（単位：千円）

平成30年度 決算額	272,038	財源内訳	国庫支出金 129,575	県支出金	自主財源 142,463
総合計画体系	3. 安全で快適に暮らせるまちづくり				
	(1) 適正な土地利用の推進				
	1 土地利用				
	①中心市街地の整備				
事業期間	期間限定複数年度(平成25年度～平成30年度)	全体事業費	1,875,993		

### 【事業の概要】

#### (1) 目的

本事業は、神立駅西口土地区画整理事業に伴い、神立駅までのアクセス向上及び市街地の活性化を目的に、土浦市との行政界を跨いだ都市計画道路神立停車場線の整備を行ったものです。平成30年度は平成29年度の繰越事業として道路改良工事及び歩道整備工事、また舗装工事を実施し、事業を完了。当市区間において一部供用開始済。

#### (2) 都市計画決定

- ・昭和38年3月30日

#### (3) 計画延長・幅員

- ・延長 L=1,150m 幅員 W=18m

#### (4) 総事業費

- ・用地及び補償費 1,164,005千円
- ・工事費 584,338千円
- ・測量及び設計等 45,781千円

#### (5) 平成30年度事業

- ・道路改良工事 L= 530.0m
- ・歩道整備工事 L= 560.0m
- ・舗装工事 L=1,150.0m

#### (6) 供用開始

- ・平成30年3月18日 延長 L=937.1m

※残区間については土浦市事業完了後（令和元年度予定）



都市計画道路 神立停車場線

### 【事業の成果】

- ・神立停車場線整備に併せて用途変更を行い、商業施設等が立地可能となり、沿線の活性化が見込まれます。
- ・土浦市側の事業が完了すれば、神立駅から国道6号、また周辺の工業施設及び商業施設へのアクセスが向上され、周辺道路の渋滞緩和が見込まれます。
- ・神立停車場線は幅員18mのため、火災の延焼遮断効果、また緊急時の輸送道路としての効果があり、都市防災機能が強化されたことにより安心・安全な暮らしが確保されました。

担当	政策経営課 政策調整担当
----	-----------------

款 02 総務費	項 01 総務管理費
----------	------------

事業名	公共交通対策事業（政策）
-----	--------------

（単位：千円）

平成30年度 決算額	51,167	財源内訳	国庫支出金	県支出金	自主財源
					51,167
総合計画体系	3. 安全で快適に暮らせるまちづくり				
	(2) 都市基盤の整備				
	1 道路・交通				
	⑦公共交通の充実				
事業期間	継続		全体事業費	—	

### 【事業の概要】

#### ▶ 公共交通対策事業（かすみがうら市地域公共交通会議）

##### (1) 霞ヶ浦広域バスの運行

玉造駅（行方市）からあじさい館、土浦協同病院を經由して土浦駅（土浦市）までを結ぶ霞ヶ浦広域バスを運行しました。

運行事業者：(株)関鉄グリーンバス

運行本数：1日5往復



##### (2) デマンド型乗合タクシーの運行

希望の時間帯を予約して、自宅から目的地近くの指定乗降箇所まで利用できるデマンド型乗合タクシーを千代田地区と霞ヶ浦地区において、それぞれ運行しました。

運行事業者：(有)千代田タクシー

(有)美並タクシー



##### (3) 高齢者運転免許自主返納支援

高齢者の運転免許の自主返納に対して路線バスの回数乗車券を進呈しました。

区分	平成29年度	平成30年度
自主返納助成者	32人	38人

### 【事業の成果】

霞ヶ浦広域バスのさらなる利用促進を図るため、平成30年7月に充電用USBコンセントを全座席に装備し、車内でフリーWi-Fiが利用できる56人乗りの新型車両を導入しました。

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
霞ヶ浦広域バス延べ利用者数	30,160人	31,178人	30,947人

担当	行財政改革・公共施設等マネジメント推進室 公共施設等マネジメント担当
----	---------------------------------------

款	02 総務費	項	01 総務管理費
---	--------	---	----------

事業名	公有財産調整事業（政策）
-----	--------------

（単位：千円）

平成30年度 決算額	249	財源内訳	国庫支出金	県支出金	自主財源
					249
総合計画体系	3. 安全で快適に暮らせるまちづくり				
	(2) 都市基盤の整備				
	2 公共施設				
	①公共施設の最適化				
事業期間	継続		全体事業費	—	

### 【事業の概要】

#### 1 公共施設等マネジメント実行計画（個別施設計画）策定の推進調整

##### (1) 計画の概要

平成27年3月に策定した基本計画に基づき、将来を見据えた中で、第1期（令和6年度）までの個別施設の再編、保全等に関する具体的な取り組み計画とします。

##### (2) 平成30年度における取り組み

- ・施設（建物）の保全計画の基礎とするため、各建物の劣化度調査を実施
- ・公共施設等マネジメント推進委員会に、実行計画原案の作成状況を中間報告

#### 2 旧小学校施設活用の推進調整

##### (1) 平成29年度に締結した基本協定に基づく優先交渉権者との調整

- ・下大津…当面はグラウンド部分の貸付決定（平成31年4月～3年間）
- ・牛渡、佐賀…旧佐賀小について転用等の準備期間の貸付契約を締結したが、事業者の環境変化により両施設とも活用辞退。平成30年12月に協定と契約を解除
- ・志士庫…市街化調整区域における開発行為に関し関係部門との調整を進めたが、事業者の都合により活用辞退。平成30年10月に協定を解除

##### (2) 活用事業者の再公募の実施

- ・上記(1)の佐賀、牛渡、志士庫について、平成31年2月に再公募を実施
- ・牛渡、佐賀に5事業者からのべ6件の事業提案があり、プレゼンテーション審査の結果、各施設とも優先交渉権者となる事業者を選定
- ・志士庫は応募者がなく不調となったため、今後の対応を調整

### 【事業の成果】

- ・公共施設の最適化に向けて、公共施設等マネジメント推進委員会を通じ、客観的かつ専門的な知見からの助言により、今後の実行計画の取りまとめにあたっての課題等が把握できました。
- ・旧小学校施設の活用では、企業誘致部門との連携や地域住民の代表者等の協力を得ながら、地域の特性等を生かした活用に向けて調整を推進することができました。

担当	行財政改革・公共施設等マネジメント推進室 公共施設等マネジメント担当
----	---------------------------------------

款	02 総務費	項	01 総務管理費
---	--------	---	----------

事業名	旧宍倉小学校施設転用整備事業（政策）
-----	--------------------

（単位：千円）

平成30年度 決算額	29,748	財源内訳	国庫支出金	県支出金	自主財源
					29,748
総合計画体系	3. 安全で快適に暮らせるまちづくり				
	（2）都市基盤の整備				
	2 公共施設				
	①公共施設の最適化				
事業期間	継続		全体事業費	—	

### 【事業の概要】

#### 1 事業の目的等

保健福祉に関する全市的な施設が市内に分散配置となっている課題に対応し、市民の幅広い意味での健康増進に寄与するため、廃校となった旧宍倉小施設を健康増進や福祉、地域コミュニティ、市民活動などの拠点（仮称；かすみがうら市ウエルネスプラザ）として、多目的な公共施設に再生するものです。

#### 2 実施設計等の推進

- (1) 旧宍倉小学校施設転用整備工事実施設計委託（19,980,000円）
- (2) 地質調査業務委託（1,911,600円）
- (3) 旧宍倉小学校屋内運動場耐震補強等工事設計変更業務委託（799,200円）
- (4) 用地測量委託（3,272,400円）

#### 3 実施設計の概要

- ・校舎の大規模改修 2363.72㎡
- ・体育館の耐震補強等 548.00㎡
- ・電気設備、機械設備の更新
- ・プール等の解体
- ・外構工事



完成予想図

### 【事業の成果】

公共施設等マネジメント実行計画の策定や今後の公共施設の最適化に向けて、先導的な取り組みとして事業を推進しています。

担当	政策経営課 政策調整担当
----	-----------------

款 02 総務費	項 01 総務管理費
----------	------------

事業名	企画調整事業（政策） スマートIC設置可能性等調査業務委託事業
-----	---------------------------------

（単位：千円）

平成30年度 決算額	7,560	財源内訳	国庫支出金	県支出金	自主財源
					7,560
総合計画体系	7. みんなでつくる連携と協働のまちづくり				
	(5) 行政サービスの向上				
	2 財政運営				
	①計画的・効率的な財政運営				
事業期間	継続		全体事業費	—	

### 【事業の概要】

#### ▶ スマートIC設置可能性等調査

##### (1) 調査に至るまでの経緯

市内の企業活動の活性化や物流の効率化をはじめ、国道6号の渋滞緩和のほか、市民生活の利便性向上と市内果樹園などの観光施設へのアクセス向上などを図るため、本市エリアの常磐自動車道と接続するスマートICの整備に向けて、平成29年度から国、県等の関係機関と協議・検討を進め、本調査に至ったものです。

##### (2) 調査の目的

本市エリア内の常磐自動車道と接続するスマートICの整備に向け、地域の概況や整備効果などを検討し、設置可能性等について調査したものです。

##### (3) 委託業者

(株)オリエンタルコンサルタンツ  
茨城県つくば市竹園二丁目10番8号

##### (4) 委託期間

平成30年5月7日～平成31年3月13日

##### (5) 委託費

7,560,000円

##### (6) 調査結果等

- ・ スマートIC設置候補地
- ・ 対象車種  
ETC車載器を搭載した全車種



常磐自動車道千代田PA周辺

### 【事業の成果】

スマートICの設置候補地を千代田パーキングエリアとして、千代田パーキングエリア周辺をはじめ、本市に立地する事業所158箇所と果樹園等29箇所を対象にアンケート調査を実施し、次のとおりスマートIC設置による整備効果を整理しました。

- ①地域住民の常磐自動車道へのアクセス性向上、②観光振興への寄与、③物流効率化、④一般国道6号の渋滞緩和

担当	生活環境課 交通安全・防犯担当
----	--------------------

款 02 総務費	項 01 総務管理費
----------	------------

事業名	地域安全対策事業（政策）
-----	--------------

（単位：千円）

平成30年度 決算額	5,267	財源内訳	国庫支出金	県支出金	自主財源
					5,267
総合計画体系	3. 安全で快適に暮らせるまちづくり				
	(3) 安全な住環境の推進				
	2 防災				
	①防災対策・体制の充実				
事業期間	継続		全体事業費	—	

### 【事業の概要】

効果的かつ効率的な空家等対策を実施するため、庁内関係部局及び関係機関等との連携を図っています。

特定空家に対する事前措置としての立入調査／実態調査及びデータベースの整備／対策計画の策定／協議会の設置及び運営

#### 主な事業内容

- 空家等対策協議会（43千円）  
協議会を開催し、空家等対策計画素案について協議
- 防犯カメラ等機器設置（5,129千円）  
以下の6箇所に双方向（計12基）設置
  - 市道6—0004号線上（石岡市三村2440—46）
  - 市道8—0381号線上（稲吉三丁目3608—2）
  - 市道6—0001号線上（上土田401—1）
  - 県道53号線上（土浦市永井2033）
  - 県道118号線上（宍倉3099）
  - 県道118号線上（加茂3066）



市内に設置されている防犯カメラ

### 【事業の成果】

空家等対策計画の策定に向けた準備が進められ、また、防犯カメラの設置を推進することで、犯罪の未然防止、市民の生活環境の保全にも寄与しています。

担当	総務課 危機管理担当
----	---------------

款 09 消防費	項 01 消防費
----------	----------

事業名	防災訓練事業（政策）
-----	------------

（単位：千円）

平成30年度 決算額	1,283	財源内訳	国庫支出金	県支出金	自主財源
					1,283
総合計画体系	3. 安全で快適に暮らせるまちづくり				
	(3) 安全な住環境の推進				
	2 防災				
	①防災対策・体制の充実				
事業期間	継続		全体事業費	—	

### 【事業の概要】

#### ▶総合防災訓練

- (1) 日 時 平成30年11月18日（日）午前8時00分～午後11時30分
- (2) 場 所 かすみがうら市第一常陸野公園
- (3) 訓練内容 避難訓練、市民体験型訓練、災害対策本部の設置訓練・運営訓練、職員参集訓練、広報訓練、情報伝達訓練  
(訓練参加人数 1489名)

#### ▶シェイクアウト訓練

- 発生時、地震から身を守る安全行動（まずひくく、あたまをまもり、うごかない）
- (1) 平成30年9月3日（月）午前11時 市内全小中学校（訓練参加人数 3400名）
- (2) 平成30年11月18日（日）午前8時00分 全市民対象（訓練参加人数 1108名）



◀千代田中  
生徒による  
CPR講習



◀防災士に  
よる救出・  
救護・搬送  
訓練

### 【事業の成果】

甚大な被害が予測されている首都圏直下型地震又はその他の災害に対し、関係機関及び地域住民との相互協力体制の緊密化を図るとともに、市民一人ひとりの防災に対する理解と防災意識の高揚を図ることができました。

・主な訓練内容（千代田中生徒による避難所の受付・設営訓練、心肺蘇生法とAED講習、非常食炊き出し体験、防災士による救出・救護・搬送訓練、消防団の連携による火災防ぎょ訓練、消防署による救出・除染・救護所設置訓練など）

担当	総務課 危機管理担当
----	---------------

款 09 消防費	項 01 消防費
----------	----------

事業名	災害対策事業（政策）
-----	------------

（単位：千円）

平成30年度 決算額	6,221	財源内訳	国庫支出金 1,069	県支出金 40	自主財源 5,112
総合計画体系	3. 安全で快適に暮らせるまちづくり				
	(3) 安全な住環境の推進				
	2 防災				
	①防災対策・体制の充実				
事業期間	継続		全体事業費	—	

### 【事業の概要】

災害に強い街づくりを目指し、地域の防災（共助）体制の充実を図り、市民の安全な暮らしを守ります。

▶自主防災組織補助金交付

- (1) 交付先 9組織（グリーンランド区、逆西地区、戸崎原区、上高谷区、第2千代田南団地区、シティーナ神立、深谷2区、稲吉東2区、大塚団地区）

▶防災士資格補助金交付

- (1) 交付者数 5名

▶かすみがうら市総合防災マップ作成業務

- (1) 委託業者 ㈱ゼンリンつくば営業所  
所長 大野 直樹

- (2) 委託費 2,673,000円

※国の社会資本整備総合交付金（補助率1/2）を活用

- (3) 市民への周知方法

- ・行政区加入の方＝区長発送
- ・行政区未加入の方＝各庁舎窓口配置
- ・ホームページ掲載

▶罹災証明書交付等共同整備事業

県が主体となり、県内43市町村（常総市を除く）と共同でシステムを整備。

- (1) 負担金 2,191,000円



### 【事業の成果】

自主防災組織の結成促進に向けて、区長会総会や市政懇談会、防災研修会（地区：霞ヶ浦中地区公民館佐賀支館、粟田・高倉地区）等を実施し、組織の役割やその必要性、結成方法等について説明を行いました（組織数：合計9組織、※H30年度は3組織が結成された）。

洪水・土砂HM及びその他防災情報を1つにまとめた冊子型の総合防災マップを作成し、また、罹災証明書交付等システムを共同整備し防災・減災対策に努めました。

担当	総務課 危機管理担当
----	---------------

款 09 消防費	項 01 消防費
----------	----------

事業名	防災無線整備事業（政策）
-----	--------------

（単位：千円）

平成30年度 決算額	70,813	財源内訳	国庫支出金 51,580	県支出金	自主財源 19,233
総合計画体系	3. 安全で快適に暮らせるまちづくり				
	(3) 安全な住環境の推進				
	2 防災				
	③防災行政無線の充実				
事業期間	期間限定複数年度（平成28年度～令和2年度）		全体事業費	747,813	

### 【事業の概要】

防災行政無線デジタル化を進めることにより、災害時の情報伝達の向上を図ります。

#### ▶防災行政無線デジタル同報系統合システム整備工事（Ⅱ期）

（補助事業名：防衛省民生安定施設整備事業）

（1）工事場所 霞ヶ浦地区

（2）工期 平成30年9月20日から平成32年3月13日まで

（3）請負業者 NEC ネットエスアイ株式会社  
茨城営業所 所長 亀田 憲二

（4）請負額 当初 351,712,800円  
変更後 367,200,000円  
(15,487,200円増)  
※うち、平成30年度支出額  
=前払金68,774,000円

（5）工事内容 当初 再送信子局及び屋外拡声  
子局64局  
変更後 再送信子局及び屋外拡声  
子局67局（3局増）

#### ▶千代田地区屋外子局ID番号追加業務委託

（1）委託料 896,400円

#### ▶無停電装置設置業務委託

（1）委託料 421,200円



### 【事業の成果】

平成28年度から開始した、防災行政無線デジタル同報系統合システム整備工事（全体計画：5か年）は3年目を終了し、終了年度の令和2年度に向け、計画どおりに進んでいます。また、屋外子局ID追加業務により、放送エリアを千代田中学校区と下稲吉中学校区に細分化し設定変更を実施しました。さらに、停電時、庁舎内発電機が起動するまでの間、無停電電源装置を設置することで、停電時も放送に支障が出ないように改善を図りました。

担当	健康づくり増進課 健康増進担当
----	--------------------

款 04 衛生費	項 01 保健衛生費
----------	------------

事業名	健康づくり推進事業（政策）
-----	---------------

（単位：千円）

平成30年度 決算額	5,781	財源内訳	国庫支出金	県支出金	自主財源
					5,781
総合計画体系	4. 健康で思いやりをもって暮らせるまちづくり				
	(1) 健康づくりの推進				
	1 保健・医療				
	①健康増進計画の推進				
事業期間	継続		全体事業費	—	

### 【事業の概要】

#### (1) 事業の目的

生活習慣病の予防を通して、健康寿命を延伸していくため、健康づくり事業を実施し健康意識の高揚を図ります。

#### (2) 事業内容

- ・ヨガ教室、スマートエクササイズ教室や、健康づくり講演会などの健康教育の実施
- ・生活習慣病を考えようをテーマに、児童期からの食育についてや、骨粗しょう症・在宅医療に関する講話等をはじめ、健康づくり全般にわたる体験型健康まつりを実施
- ・子どもの健診から大人の健診、がん検診や健康教室等の日程や、健康に関する情報を市民の皆さんへわかりやすく伝える健康カレンダーの作成
- ・市民の不安と疑問の解消にむけて、こころの相談や心身の健康に関する相談を実施

#### (3) 事業費

- ・健康まつり事業費 2,080,713円
- ・健康カレンダー作成 1,101,600円
- ・相談、教室事業等 2,599,050円

#### (4) 実績

- ・健康まつり来場者数 800人
- ・健康カレンダー作成数 15,000部
- ・ヨガ、スマートエクササイズ教室  
参加人数 延64人 9回実施
- ・相談事業参加者 50人



健康まつり  
管理栄養士による講話

健康まつり  
タイ伝統医療トークセン

### 【事業の成果】

体験型で行った健康まつりでのアンケート調査では、健康への意識の問いに「高まった・やや高まった」の回答が97.5%となり、事業実施による健康意識の改善について伝えることができました。

指標名（健康体操指導士育成数）	H28	H29	H30
目標	30	20	10
実績	38	35	10

担当	健康づくり増進課 母子保健担当
----	--------------------

款 04 衛生費	項 01 保健衛生費
----------	------------

事業名	不妊治療費助成事業（政策）
-----	---------------

（単位：千円）

平成30年度 決算額	3,334	財源内訳	国庫支出金	県支出金	自主財源
					3,334
総合計画体系	4. 健康で思いやりをもって暮らせるまちづくり				
	(1) 健康づくりの推進				
	1 保健・医療				
	⑥妊娠・出産・育児への支援体制の強化				
事業期間	継続		全体事業費		—

### 【事業の概要】

#### (1) 事業の目的

不妊に悩む夫婦への体外受精や顕微授精による不妊治療は、一回の受診料が高額になりやすく、また、複数回の治療が必要になる場合もあり、妊娠に至るまでの経済的負担が大きく、治療費に係る問題は大きいところです。本市では不妊治療費の一部補助を行い、治療費の負担を軽減することで、赤ちゃんを望む夫婦が少しでも安心して治療に専念できる環境が整えられるよう、不妊治療費助成事業を実施しています。平成29年度より、男性の不妊治療及び女性の不育治療も補助の対象とし、助成の幅を広げています。

#### (2) 助成内容

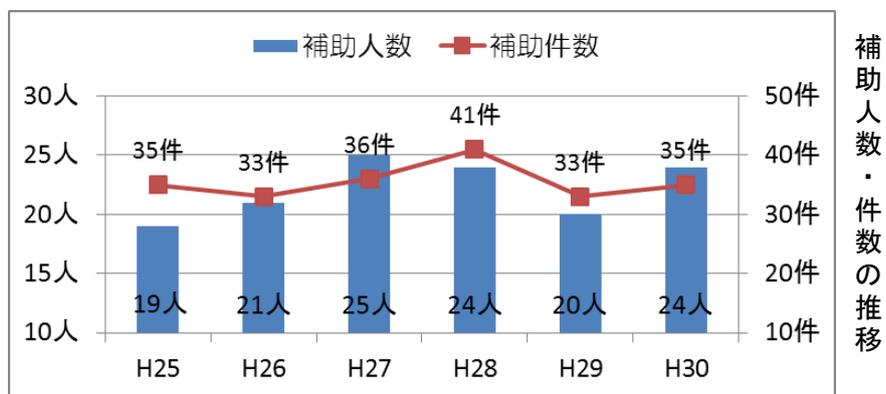
- ・(回数) 初回申請の治療開始が39歳までは通算6回まで、40～42歳は通算3回まで、43歳以上は対象外
- ・(金額) 特定不妊治療1回につき茨城県不妊治療助成額を差引いた額から10万円を限度とした額

#### (3) 助成実績

- ・女性不妊治療…24組36件
- ・男性不妊治療…1組1件

#### (4) 助成額

- ・3,333,529円



### 【事業の成果】

不妊治療費助成事業を実施して、不妊治療費の一部を補助することで、赤ちゃんを望む夫婦の不妊治療費の負担軽減を図りました。

指標名（補助金交付件数）	H28	H29	H30
目標	40	40	40
実績	41	33	36

担当	健康づくり増進課 健康増進担当
----	--------------------

款 04 衛生費	項 01 保健衛生費
----------	------------

事業名	保健関係団体等活動促進事業（政策）
-----	-------------------

（単位：千円）

平成30年度 決算額	30,470	財源内訳	国庫支出金	県支出金	自主財源
					30,470
総合計画体系	4. 健康で思いやりをもって暮らせるまちづくり				
	(1) 健康づくりの推進				
	1 保健・医療				
	⑦医療体制の強化				
事業期間	期間限定複数年度（平成29年度～令和3年度）	全体事業費	150,553		

### 【事業の概要】

#### (1) 事業の目的

- ・茨城県歯科医師会口腔センター土浦運営支援等負担金  
口腔センター土浦の開所に伴う備品整備に要するための負担金
- ・石岡地域市民医療懇談会負担金  
石岡市・小美玉市・本市の3市による石岡地域市民医療懇談会の運営に係る負担金
- ・土浦協同病院運営支援補助金  
土浦協同病院の総合的な運営に要する費用で、救急医療専用病床、救命救急センター、小児医療病床及び小児救急医療、周産期医療の運営に要するための補助金

#### (2) 助成額

- ・茨城県歯科医師会口腔センター  
土浦運営支援等補助金 400,000円
- ・石岡地域市民医療懇談会  
負担金 69,502円
- ・土浦協同病院運営支援  
補助金 30,000,000円



口腔センター土浦



土浦協同病院

### 【事業の成果】

補助金や負担金を交付することにより、地域医療を担う病院や施設として、救急医療・高度医療等、診療体制が整い、質の高い医療サービスを市民に提供できるようになります。

指標名（補助金交付件数）	H28	H29	H30
目標	—	1	1
実績	—	1	1

担当	子ども家庭課 保育担当
----	----------------

款	03 民生費	項	02 児童福祉費
---	--------	---	----------

事業名	私立保育所事業（政策）
-----	-------------

（単位：千円）

平成30年度 決算額	211,700	財源内訳	国庫支出金	県支出金	自主財源
			174,942	20,199	16,559
総合計画体系	5. 未来を担う若者を育むまちづくり				
	(1) 次世代の育成支援				
	1 児童福祉				
	①教育・保育サービスの充実				
事業期間	継続		全体事業費	—	

### 【事業の概要】

#### ○認定こども園園舎改築工事【神立幼稚園】

##### (1) 工事に至るまでの経緯

当該施設は、昭和53年に幼稚園認可を受けて以降、平成27年に幼保連携型認定こども園として改めて開園し、子育てにおける拠点として重要な役割を担っていますが、設置後、40年が経過し、老朽化が進み、耐震・耐力度にも問題があり、安心な受入体制構築を目的とし整備に至りました。

##### (2) 請負業者

設計・監理業務 株須藤隆建築設計事務所  
工事請負 松浦建設株

##### (3) 契約期間

平成30年4月11日～平成31年8月31日

##### (4) 契約金額

設計・監理業務 32,400,000円  
工事請負 383,724,000円

### 【事業の成果】

補助対象部分の改築工事は完了し、安心・安全な園舎にて保育・教育サービスが提供されています。

担当	大塚児童館・ふれあいセンター 児童担当
----	------------------------

款	03 民生費	項	02 児童福祉費
---	--------	---	----------

事業名	放課後児童健全育成事業（政策）
-----	-----------------

（単位：千円）

平成30年度 決算額	125,181	財源内訳	国庫支出金 84,693	県支出金 48,721	自主財源 -8,233
総合計画体系	5. 未来を担う若者を育むまちづくり				
	(1) 次世代の育成支援				
	1 児童福祉				
	②放課後児童クラブの充実				
事業期間	継続		全体事業費	—	

### 【事業の概要】

放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）は児童福祉法第6条の3第2項の規定に基づき、保護者の就労などにより、昼間家庭にいない世帯の子どもたちが安心して過ごし、適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業です。対象は、小学生の児童（1～6年生）であり、平成30年度に民設1箇所が追加となり、現在、公設18箇所、民設7箇所、計25箇所開所しています。



#### ○ 放課後児童クラブ民営補助金

- ・子ども・子育て支援交付金（補助率：国補助金1/3 県補助金1/3 市1/3）
- ・子ども・子育て支援整備交付金（補助率：国補助金1/2 県補助金1/8 市1/8 事業者1/4）

（単位：千円）

	28年度	29年度	30年度
子ども・子育て支援交付金	30,615	46,995	58,329
子ども・子育て支援整備交付金			66,852

### 【事業の成果】

（単位：人）

	28年度 (24クラブ)	29年度 (24クラブ)	30年度 (25クラブ)
定員数	865	865	980
入会児童数	762	817	843
待機児童数	0	0	0

「新・放課後子ども総合プラン」に基づき、子どもの主体性を尊重した健全育成に努め、子どもの安全・安心な居場所を確保するため、民間事業者と連携し、待機児童が発生しないよう計画的に整備しました。

担当	子ども家庭課 保育担当係・児童担当
----	----------------------

款 03 民生費	項 02 児童福祉費
----------	------------

事業名	子育て支援事業（政策）
-----	-------------

（単位：千円）

平成30年度 決算額	15,337	財源内訳	国庫支出金 600	県支出金 6,082	自主財源 8,655
総合計画体系	5. 未来を担う若者を育むまちづくり				
	(1) 次世代の育成支援				
	2 少子化対策				
	①子育て支援の充実				
事業期間	継続		全体事業費	—	

### 【事業の概要】

#### ○出産祝品贈呈事業

##### (1)趣旨

次世代を担う子の出生を祝福するとともに子どもの健やかな成長に寄与することを、目的として市から出産祝品を贈呈いたします。

##### (2)対象者

出産後初めて本市の住民基本台帳に記録された対象児童と同一世帯に属し養育している父又は母です。

##### (3)祝品

育児用品及び本市の特産品で、対象児童1人につき1セットを贈呈しています。



出産祝品

### 【事業の成果】

#### 平成30年度新規事業

出産祝品贈呈件数は262件でした。

担当	学校教育課 教育指導室
----	----------------

款	10 教育費	項	01 教育総務費
---	--------	---	----------

事業名	子どもミライ学習事業（政策）
-----	----------------

（単位：千円）

平成30年度 決算額	1,973	財源内訳	国庫支出金	県支出金	自主財源
					1,973
総合計画体系	7. みんなでつくる連携と協働のまちづくり				
	(3) 産学官連携の推進				
	1 産学官連携				
	③子どもミライプロジェクトの展開				
事業期間	継続		全体事業費	—	

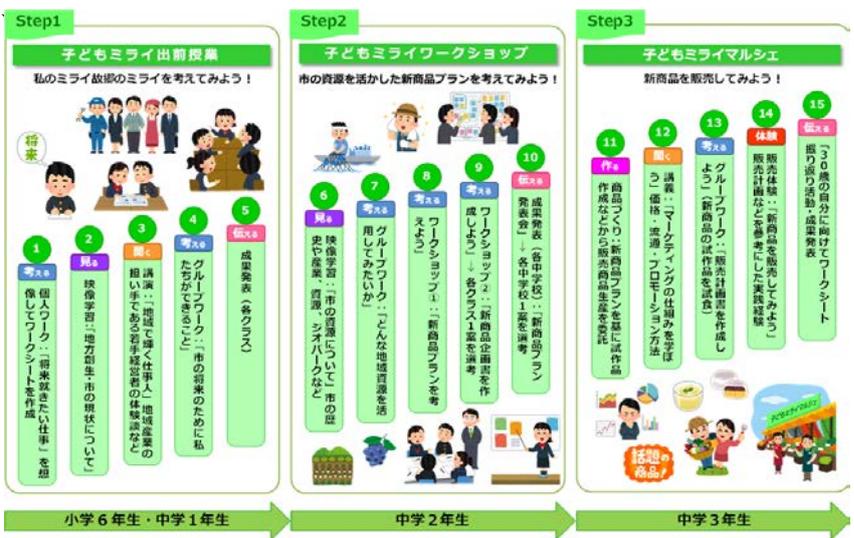
### 【事業の概要】

子どもミライ学習は、「かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置付けられた重点プロジェクト「子どもミライプロジェクト」に基づき、郷土を愛し誇りに思う心を育み、未来のまちづくりを考えることができる人材育成を目指して実施します。さらに、この学習を経て郷土への理解を深めた子供たちが、進学や就職にあたるタイミングでの帰郷・定住の後押しになることを目指しています。

市内で働く方々や、筑波銀行、産業能率大学など、様々な方と協働して学習を進め、地域産業の担い手として働いている事業者の話の聞いたり、地域の実状や課題となるまちづくりなどについて考えたり、地域の資源を生かしたものづくりや販売を体験します。



子どもミライ出前授業の様子



### 【事業の成果】

平成30年度は、小学6年生及び中学1年生対象の地域産業の担い手から仕事や生活について話を聞く「出前授業」、中学2年生対象の市の資源を活かした新商品を考案する「ワークショップ」、中学3年生対象の新商品を販売体験する「マルシェ」を実施しました。市内各中学校で考案した新商品は、あゆみ祭りやかすみがうら祭、下稲吉中学校文化祭において実際に中学3年生が販売体験（各校300個販売）を行い、各校とも短時間で完売する盛況を見せ、子どもたちも達成感や満足感を持つことができました。

担当	地域未来投資推進課 事業推進担当
----	---------------------

款	07 商工費	項	01 商工費
---	--------	---	--------

事業名	企業立地促進事業（政策）
-----	--------------

（単位：千円）

平成30年度 決算額	61,724	財源内訳	国庫支出金	県支出金	自主財源
					61,724
総合計画体系	5. 未来を担う若者を育むまちづくり				
	（4）就業機会の拡大				
	1 就業促進				
	③積極的な企業誘致				
事業期間	継続		全体事業費	—	

### 【事業の概要】

企業立地の促進や新たな産業用地開発の検討、さらには域外への販路開拓を目指すといった市内事業者に対する支援等（助成制度・金融対策・誘致活動・情報提供）を行うことで、地域へ波及効果をもたらすであろう地域経済牽引事業者の成長を促し、市内産業の活性化と雇用の促進へつなげます。

#### ○企業立地促進助成金の交付

- ・山田製薬(株)【H29年度立地】  
設備投資額 23.3億円 H30助成額33,833千円
- ・栗田アルミ工業(株)【H30年度立地】  
設備投資額10.5億円 H30助成額24,177千円



加茂地区に立地した栗田アルミ工業(株)

#### ○立地に伴う固定資産税の免除

- ・山田製薬(株) 栗田アルミ工業(株) (株)小松崎商事

#### ○企業立地可能性調査の実施

市内における産業用地の不足に対応し、新たな産業の導入による雇用の創出を目的として、企業立地の可能性が高いと見込まれる交通アクセスに優れた2つの地域における集積地の開発を想定した上で、事業実施の可否を判断するために必要な基礎的情報の収集・分析を実施。※国道6号と常磐自動車道インターチェンジに近接した地域

#### ○地域特産品等販路開拓促進事業費補助金制度の創設（平成31年4月1日施行）

### 【事業の成果】

企業の新規立地や既立地企業の拡大に伴う効果

#### ○雇用の創出

- ・(株)小松崎商事 6名（うち本市の新規従業者6名）
- ・山田製薬(株) 21名（うち本市の新規従業者5名）
- ・栗田アルミ工業(株) 23名（うち本市の新規従業者3名）

#### ○税収の増加【立地に伴う固定資産税の増加額（土地の評価額向上分、新工場、償却資産の概算額）】

- ・3社合計 約2,300万円

※その他、立地に伴う法人市民税、市民雇用に伴う住民税の増加

担当	学校教育課 教育施設担当
----	-----------------

款	10 教育費	項	02 小学校費
---	--------	---	---------

事業名	千代田中学校区統合小学校環境整備事業（政策）
-----	------------------------

（単位：千円）

平成30年度 決算額	19,358	財源内訳	国庫支出金	県支出金	自主財源
					19,358
総合計画体系	6. 豊かな学びと創造のまちづくり				
	(1) 学校教育の充実				
	1 学校教育				
	①教育環境の計画的な整備推進				
事業期間	継続		全体事業費	—	

### 【事業の概要】

「千代田中学校区統合小学校基本計画」に基づき、現在の千代田中学校へ校舎を増築し、施設一体型の義務教育学校として令和4年度の開校を目指し整備を進めます。

- ◎平成29年度・・・基本計画書作成
- ◎平成30～令和元年度・・・基本・実施設計業務を実施
- ◎令和2～3年度・・・施設整備工事
- ◎令和4年度・・・義務教育学校開校

【統合される学校】志筑小学校、新治小学校、七会小学校、上佐谷小学校



← 基本計画平面図（1階）

オレンジ部分が増築校舎  
水色部分が既存校舎

### 【事業の成果】

千代田中学校区の統合小学校整備につきましては、これまでたくさんの市民の皆様にご意見をいただき、基本計画及び基本設計を進めてまいりました。

今後、この統合小学校が開校することにより、子ども達にとってより充実した小中一貫教育ができることとなります。

#### 【設計作業の進捗率】

《平成30年度》基本設計完了（100%） 《令和元年度》実施設計完了予定（100%）

担当	学校教育課 教育施設担当
----	-----------------

款	10 教育費	項	03 中学校費
---	--------	---	---------

事業名	中学校施設耐震促進事業（政策）
-----	-----------------

（単位：千円）

平成30年度 決算額	12,423	財源内訳	国庫支出金	県支出金	自主財源
					12,423
総合計画体系	6. 豊かな学びと創造のまちづくり				
	(1) 学校教育の充実				
	1 学校教育				
	①教育環境の計画的な整備推進				
事業期間	継続		全体事業費	—	

### 【事業の概要】

市内の小中学校施設の耐震化については、平成28年度をもって完了しました。  
しかしながら、非構造部材といわれる天井材や照明工具等の落下防止対策については未だ完了していない施設が残っているため、今後も必要な対策を検討し、生徒が安全に生活できるよう整備を行います。

【実施した施設】 霞ヶ浦中学校：武道場

【主な対策内容】 天井材の改修、照明器具の落下防止対策



### 【事業の成果】

霞ヶ浦中学校の施設については今回の武道場耐震対策が完了し、生徒達が安全に活動できる環境が整いました。今後も国の補助金を活用し市内小中学校の耐震対策に取り組んでいきます。

【今後の予定】

《令和元年度》千代田中及び下稲吉中の耐震対策設計完了予定（100%）

《令和2年度》対策施設の整備工事完了予定（100%）

担当	スポーツ振興課 スポーツ振興担当
----	---------------------

款	10 教育費	項	05 保健体育費
---	--------	---	----------

事業名	市民ふれあいスポーツ推進事業（政策）
-----	--------------------

（単位：千円）

平成30年度 決算額	3,643	財源内訳	国庫支出金	県支出金	自主財源
					3,643
総合計画体系	6. 豊かな学びと創造のまちづくり				
	(2) 生涯学習の充実				
	1 生涯学習				
	⑤スポーツ・レクリエーション活動の推進				
事業期間	継続		全体事業費	—	

### 【事業の概要】

#### ■スポーツ・レクリエーションの振興

生涯スポーツ推進のため、気軽にスポーツに取り組めるひとつのきっかけ作りとして、各種スポーツ団体や関係者と協力をしながら各種スポーツ教室や講習会を開催しました。

2019年に本市で開催する いきいき茨城ゆめ国体デモンストレーションスポーツ「ペタング」と「ふれあいグラウンド・ゴルフ」については、プレ大会や市内小学校での体験会を開催することで、認知度を上げるとともに大会への機運を高めてきました。

また、B&G海洋クラブ事業として進めている「カヌー教室」につきましても引き続き積極的に推進していきます。



### 【事業の成果】

各種スポーツイベント等を開催することにより、市民の健康づくり・体力づくりをより推進できます。

#### 市民ふれあいスポーツフェア参加者数（人）

目標値 H28年度 1,500 H29年度 2,500 H30年度 2,500

実績値 H28年度 1,711 H29年度 1,734 H30年度 1,621

#### 市民マラソン大会参加者数（人）

目標値 H28年度 1,000 H29年度 1,000 H30年度 1,000

実績値 H28年度 1,055 H29年度 876 H30年度 848

担当	市民協働課 市民活動推進担当
----	-------------------

款 02 総務費	項 01 総務管理費
----------	------------

事業名	市民参画事業（政策）
-----	------------

（単位：千円）

平成30年度 決算額	8,751	財源内訳	国庫支出金	県支出金	自主財源
					8,751
総合計画体系	7. みんなでつくる連携と協働のまちづくり				
	(1) 市民活動の支援				
	2 協働体制				
	①市民参加のまちづくり				
事業期間	継続		全体事業費	—	

### 【事業の概要】

市民参画意識の向上と参加機会の拡充を図り、市民が行政サービスの受け手だけでなく、まちづくりの担い手として、地域の課題に自ら積極的に取り組んでもらえるような、市民と行政による協働のまちづくりを目指します。

①市政懇談会／市民と行政が自由に意見交換する場として、毎年テーマを決めて開催。また、「市長と話そうミーティング」では、市長と6名の東風高校生が「市の未来」等について話し合いを行いました。

②まちづくりファンド／地域づくり基金を活用し、市民団体等が自主的に取り組むまちづく活動を支援するまちづくりファンドの募集・審査、補助金交付、進行管理を行いました。

③緑化推進事業／訪れた人が花を楽しむ「環境美化」と花壇づくりを通して仲間たちのコミュニティの活性化を図る「市民活動」の二つの目的をもつ「花のみち事業」と「花いっぱい事業」を実施しました。

④移住体験イベント／地方創生交付金を活用し、市内企業の協力を得て、首都圏等に住む「田舎暮らし志向」の若年層を対象に、本市で不足している「保育」「介護」の職種に絞込んだ「移住体験ツアー」を実施しました。



### 【事業の成果】

①市政懇談会は3回で58人が参加。防災という身近なテーマであったため、活発な意見交換がありました。③高齢化によるボランティアの減少に対応できる今後の事業の再構築を検討しました。④今後は、ツアーを通して実感した本市における移住定住の課題の検証や進むべき方向性の検討を進めます。

指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度
②まちづくりファンド支援団体数	0	0	2

担当	政策経営課 政策調整担当
----	-----------------

款 02 総務費	項 01 総務管理費
----------	------------

事業名	企画調整事業（政策） 通学定期券購入費助成事業
-----	-------------------------

（単位：千円）

平成30年度 決算額	10,456	財源内訳	国庫支出金	県支出金	自主財源
					10,456
総合計画体系	7. みんなでつくる連携と協働のまちづくり				
	（5）行政サービスの向上				
	2 財政運営				
	①計画的・効率的な財政運営				
事業期間	継続		全体事業費	—	

### 【事業の概要】

#### ▶ 通学定期券購入費助成事業

##### (1) 事業の目的

平成29年度から若い世代の転出抑制と本市への定住促進を目的として、鉄道を利用して茨城県外の大学院、大学、短期大学等に通う学生の保護者に対し、申請によって通学定期券の購入に要する経費の一部を助成するものです。



##### (2) 助成金交付実績

区分	交付実績件数	交付実績額
平成30年度	226件	10,455,600円
平成29年度(参考)	199件	8,466,300円

##### (3) 通学先区分及び都県（平成30年度）

通学先	交付実績件数	交付実績額
東京都内	140件	7,401,000円
千葉県内	67件	1,852,600円
その他	19件	1,202,000円

### 【事業の成果】

茨城県外に遠距離通学する大学生や専門学生等の保護者の経済的負担を軽減し、教育の機会均等に寄与しました。



